

武漢熱線

大分市武漢事務所
全 淑 麗

Wu-han Hot Line

ワールドカップシーズンが来た！

4年に一度のFIFAワールドカップがブラジルで開催されています。中国チームが本大会に進出できなかったのは残念ですが、サッカーファンの熱は冷めていません。

全世界がブラジルに注目し、試合に熱狂する一方、ワールドカップは様々な経済効果ももたらしています。武漢でも、様々な分野でワールドカップを取り入れた企画が催され、場外で熱い戦いが展開されています。

○ショッピングサイトのキャンペーン

現在、主要なインターネット・ショッピングサイトを開くと、各サイトともビールのキャンペーンが多くなっています。中国1位のショッピングサイト「天猫(Tモール)」では、『ワールドカップ買いだめ祭り』を開催中で、160万本の缶ビールが売られています。2位の「京東商城(JDドット・コム)」では、『サッカーカーニバル』と題し、食品、飲料、家電、携帯電話などのキャンペーンを展開中です。また、食品専門のショッピングサイト「中糧マイバー」では、コココーラ、バドワイザーなどの食品ブランドを、ワールドカップ出場国数になぞらえて32社招き、『食界杯(Food World Cup)』と銘打ったキャンペーンが実施されています。

○スーパーのキャンペーン

中百、武商、中商、カルフルなどの主要なスーパーでは、ビールのブースが一番目立つ場所に設置され、サッカーファンのために、ワールドカップのカウントダウン看板、試合日程表などが掲示されています。ブランドごとにセール品を販売しており、330mlの缶ビールが1.6元(約27円)、24缶入ケースでも45.6元(約775円)といった激安セール品も登場しています。サッカーファンの市民は、観戦のためのビールを大量に買います。

「大楚ネット」に掲載されているスーパー、ネットショップなどを対象とした調査によると、ワールドカップ開催中の売れ筋商品は、ビール、飲料水、ポテトチップスで、通常の3割増しの売り上げとなっているほか、ピーナッツ、アイス等のおつまみの売れ行きも好調です。一番人気は、なんとサッカーボールで、通常時より75%増の売れ行きとなっており、一部店舗では品切れとなっています。反対に減ったものとして、コンドームの販売量は2割下落しています。男性がサッカーに熱中していることが原因のようです。

○ワールドカップ関連商品が好調

ショッピングサイト「タオバオネット」では、サッカーのユニフォーム、シューズ、マスコットなどのワールドカップ関連商

品が豊富です。ワールドカップ出場国の旗は10元ほどで購入でき、優勝カップの原寸大模型は300～400円で販売されています。ユニフォームを検索してみると、数十元から数百元までの商品が3万件以上見つかります。開催国ブラジルのユニフォームが最も人気で、ある店舗では1,500枚の売り上げがあったとのこと。他にも前回優勝国のスペイン(敗退してしまいましたが)や、強豪国のドイツ、アルゼンチンなどのユニフォームも人気があります。

武漢のデパート、百貨店でも、負けじとワールドカップキャンペーンを開催中です。特に、今回のワールドカップ開催期間中には、父の日(6月15日)を迎えることから、二つを合わせた合同キャンペーンを各売り場で展開しています。

エスカレーターホールにはユニフォーム姿のマネキンを並べ、館内はブラジルの雰囲気を出しています。カジュアル系の衣料品エリアでは、スター選手の人形や小型のゴールネットを設置するなどして、試合会場を模した装飾を施しています。

また、男性だけでなく、女性をターゲットにしたワールドカップ関連のTシャツ、ワンピース等の商品が販売されており、今年流行している親子でのペアグッズも人気となっています。

○観戦に欠かせない定番メニュー

ビールと「漬けアヒルの首」は武漢のサッカーファンが試合を観戦する際の定番メニューとなっています。前回のワールドカップ開催期間中、武漢市にある某アヒル専門店では、一日当たり5万本を売り上げた実績があり、今年も市内の各アヒル専門店では、ワールドカップキャンペーンが開催されています。ある店舗では、サッカーの応援ソングや、サンバ調の音楽を流し、「ビールと漬けアヒルの首、徹夜観戦神器」との看板を掲示しています。また、別の店舗では、メッシやクリスティアーノ・ロナウドなどのスター選手のポスターを掲示し、特別メニュー「爽快なワールドカップセット」を用意するなど、それぞれ趣向を凝らしたアイデアで集客を図っています。

○夜間観戦による経済効果

武漢はブラジルとの時差が11時間(日本は12時間)あるため、試合は深夜から早朝となります。家族の睡眠を妨げないように、外で観戦するファンも多いことから、ワールドカップの勢いを借りて営業時間を朝まで延長するバーやホテル、屋台が多くあります。6月の夜間客数は通常の2倍で、売上も3割増となっています。

大型スクリーンで試合を観戦しながら、ザリガニやアヒルとともに飲むビールは最高でしょうね。



Barでの観戦の様子



屋台での観戦の様子



飲食店での観戦の様子